

▼ロバキシン顆粒 [内]

【重要度】 【一般製剤名】メトカルバモール methocarbamol 【分類】骨格筋痙攣弛緩剤

【単位】▼90%顆粒

【常用量】1.5～2.25g/日■小児では最大60mg/kg/日

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】PKは腎機能正常者と類似しており、減量の必要なし (Sica DA, et al: Eur J Clin Pharmacol 39: 193-4, 1990 PMID: 2253675)

【保存期CKD患者への投与方法】腎障害を悪化させるおそれがあるため慎重投与 (1)

【その他の報告】PKデータが少なく評価できないが、透析患者の報告を見る限り減量の必要なし (5)

【特徴】中枢性筋弛緩薬でメフェンシンの安全性を改良し、効果の持続性を図った薬剤。

【主な副作用・毒性】過敏症、頭痛・頭重感、めまい、ふらつき、眠気、運動失調、霧視、消化器症状

【安全性に関する情報】眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意する (1)

【F】資料なし (1) 77%以上 [ラット] (Obach R, et al: Biopharm Drug Dispos 9: 501-11, 1988 PMID: 3224164)

【tmax】0.5hr (1)

【代謝】資料なし (1)

【排泄】尿中回収率50～90% [イヌ] (1)

【CL】資料なし (1)

【t1/2】1.6hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】241.24

【透析性】

【O/W係数】資料なし (1)

【相互作用】中枢神経抑制剤、アルコール、MAO阻害剤と相互に効果増強のおそれ (1) トルペリゾン：眼の調節障害の報告 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20160130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。